

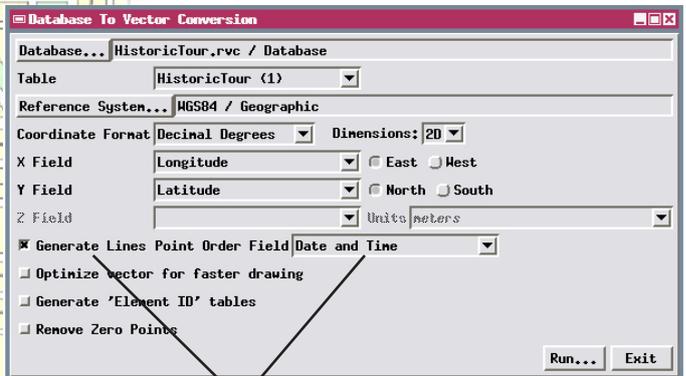
写真テーブルをポイントベクタに変換する

TNTmips のデータベースのベクタ変換処理では、ジオタグ写真データベーステーブルの中の写真を、線でつながったポイントベクタに変換することができます。テーブルの中のレコードをポイントベクタデータベーステーブルに変換して、関連するポイントにアタッチされます。このようにしてできたベクタオブジェクトを表示する時、ポイントの上でマウスカーソルを止めた時に現れるデータチップに画像のサムネイルを設定したり、同時にポイントシンボルとして写真のサムネイルを全て表示することができます。例として、下の地図イラストは歴史建造物ツアーの一般的なルート（赤い線）と、番号の付

いた写真がポイントシンボルとしてその建造物のある場所に示されているものです。

データベースのベクタ変換処理では任意でラインを発生するかどうかは自由です。写真データベーステーブルから適切な数値フィールドを選択することで、写真のポイントの順番が設定され、ラインを発生させる設定ができます。“Data and Time (日付と時刻)” のフィールドを選ぶと、取得した日付と時間によって写真のポイントの順番を設定します。他の方法で設定したい場合、表示かデータベース編集の処理を使ってテーブルに整数フィールドを追加して、各レコードに手動で任意の数値を指定して下さい。

それから変換処理でポイントの順番を設定するためにこのフィールドを選択して下さい。歴史建造物ツアーの例では、ツアー写真はツアーの道順に沿った順番で取得されているので、“Data and Time” のフィールドが選択されています。



写真のポイントをつなぐ線が発生するためにこのトグルにチェックを入れ、ポイントをつなぐ順番を決定するためにテーブルのフィールドを選択します。



ポイントシンボルに写真のサムネイルを使うには、ベクタレイヤコントロールウィンドウの [ポイント] パネルの「スタイル」の中から [Image Thumbnail] を選択して下さい。

データベースのベクタ変換処理で作った写真のポイント及びそれらをつなぐ赤い線を持ったベクタオブジェクトが、参照地図レイヤや番号、他の注釈とともにレイアウトされています。